

## 大学の世界展開力強化事業（平成24年度選定）事後評価結果

大 学 名	○愛媛大学、香川大学、高知大学
整 理 番 号	I-6
事 業 名	日本・インドネシアの農山漁村で展開する6大学協働サービスラーニング・プログラム

### ◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価)  <b style="font-size: 2em;">A</b>	取組状況、目標の達成状況ともに事業計画を概ね満たしており、事業目的は実現された。
(コメント)	<p>本事業は、愛媛大学、香川大学、高知大学の3大学とインドネシアの3大学が連携し、農山漁村地域をフィールドとしてサービスラーニングという新しい視点の国際共同教育プログラムを実施した事業である。</p> <p>事業展開では、学士課程から修士・博士課程に至る各段階に応じた効果的なプログラムが実施されており、6大学統一のプログラム参加選考基準や成績評価制度の確立、単位の相互認定や修了認定においてもガイドラインが策定され、質の保証を伴うプログラムとなっている。また、学生の学びの指標となるルーブリック型自己評価シートの開発等により、客観的で明確な学生評価にも努めている。学生交流数については、派遣・受入ともに目標を下回っているものの着実に増加しており、参加学生も、国際的視野を備えたサーバント・リーダーとして質的な面での成長が認められる。</p> <p>更に、インドネシア人留学生の選抜から各種手続きにおいて、各大学の事業推進室と関連部局が連携しながら支援するとともに、SNSを活用してプログラム参加学生間及び学生・関連教職員間で随時情報交換を行う体制を構築することで、受入学生の修学支援と修学後のフォローアップを継続的に実施する環境を整備している。また、インドネシア側の大学を中心に日本への短期留学プログラムが拡大しており、プログラム実施中の危機管理に関するガイドライン等の策定や、事務職員の英語研修、インドネシア語に堪能な職員の採用など、事務組織の国際化も進められている。</p> <p>一方で、国内3大学による連携事業ではあるものの、取組水準は個々に異なるように見受けられることから、プログラム内容や実施状況、成果等について積極的な取組と更なる連携がなされることが望まれる。</p> <p>最後に、サービスラーニングという新たな取組は他大学においても参考となり得るものであり、その教育効果を定量的に評価するとともに、引き続き国内3大学の連携を強化しながらインドネシア以外の国への展開も視野に入れるなど、我が国のグローバル展開力強化への更なる貢献を期待する。</p>